



被災地で復興活動する「いわて三陸 復興食堂」「浜のミサガ『環』」に呼びかけ、ブース出店 「平城京天平祭 春 2013」会場にて 奈良の中高生たちが被災地活動団体と共に復興支援をPR ～中高生の団体「復興支援を考える有志生徒の会」の熱意を当社団がサポートし実現～

ゴールデンウィークに開催される「平城京天平祭 春 2013」に、東日本大震災の被災地で復興活動をする団体「いわて三陸 復興食堂」「浜のミサガ『環』(たまき)」が現地から出張出店します。今回の出店は、「復興支援を考える有志生徒の会(奈良女子大学附属中等教育学校)」及び当公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ(所在地:奈良市東紀寺町二丁目10番1号 理事長/川井徳子)が企画し、出店団体に呼びかけて実現したものです。会場では、被災地団体と奈良の生徒とが一緒に、復興食堂看板メニューの提供、地酒等を販売。また、体験者の方の被災の現状や復興の語りを交えながら実演販売、そして震災後元気に復興に取り組んでいる現地の様子なども写真パネルや映像で紹介し、奈良の人々へ被災地支援を呼びかけると共に、被災地と奈良との絆づくりの場としていきたいと考えています。

この絆こそが被災地の方々の心の支えとなり、復興のチカラとなります。この貴重な機会を広く皆様方に知っていただくため、イベントについて記事掲載また取材を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

【出店概要】

- 出店イベント：5/3～5 「平城京天平祭 春 2013」(場所:平城宮跡) 10:00～17:00 開催
- 出店内容：1)「いわて三陸 復興食堂」ブース：復興食堂人気メニュー販売
2)「浜のミサガ『環』(たまき)」ブース：浜のミサガ 環(たまき)実演販売&復興展示
※「復興支援を考える有志生徒の会」制作の復興支援を呼びかける展示コーナーも設置

■企画経緯 ～忘れない、繋げたい、絆の輪～

震災直後から被災地に入り、現地だけではなく東西都市部において被災地復興PRの催し等を企画・サポートしてきた当社団・理事長の川井が、母校である奈良女子大学附属中等教育学校の生徒が主体の「復興支援を考える有志生徒の会」の活動を知り、その想いに共感したのがきっかけです。チカラになりたいと同会の生徒たちと打合せを重ね、奈良での支援PRを共に企画しました。当社団が以前から活動を支援してきた「いわて三陸 復興食堂」「浜のミサガ『環』」に働きかけ、今回の出店が実現。会場にて「誰にでもできる支援は、震災を、被災地を、被災者を忘れないこと」と訴え、被災地と奈良とのふれあいを作っていきたいと考えています。

■「復興支援を考える有志生徒の会(奈良女子大学附属中等教育学校)」について

現在中学2年から高校3年までの生徒が運営する、被災地支援を考える活動をする有志の会です。「被災地のために何かしたい」という生徒の熱意を受け「人とつながることで、個人ではできない支援ができる」と顧問の二田貴弘教諭(奈良女子大学附属中等教育学校の国語教師)が参加を呼びかけ、2012年2月に発足しました。本年1月には被災地の現状と復興について聞くシンポジウムを開催しております。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ 事務局 (担当:林) <http://www.s-s-ljp/>
〒631-0823 奈良市西大寺国見町 1-7-22 TEL 0742-49-0861 FAX 0742-43-1421
※当社団は、2013年4月1日に公益社団法人へと移行しました。

イベント出店詳細

- 出店イベント：「平城京天平祭 春 2013」 ※入場無料（一部、有料コーナーあり）
 - ・公式サイト / www.tenpyosai.jp/
 - ・開催日時 / 2013年5月3日(金・祝)～5日(日) 10:00～17:00 開催
 - ・会場 / 平城京跡 (〒630-8003 奈良県奈良市佐紀町)
 - ・主催 / 平城京天平祭実行委員会事務局
- 出店コーナー：「東市・西市」（場所:佐伯門東側広場） ※約50店が建ち並ぶ奈良グルメ・物販コーナー
- 出店内容：
 - 1)「いわて三陸 復興食堂」ブース：復興食堂人気メニュー販売
 - 復興イカ焼きそば(500円・税込)、大船渡産タコ唐揚げ(400円・税込)、いわての地酒(400円・税込)
 - 2)「浜のミサンガ 環(たまき)」ブース：浜のミサンガ 環(たまき)実演販売&復興展示
 - 「浜のミサンガ 環」(太・細2本セット/1,100円・税込)の実演販売
漁網を使ってのミサンガ作りを、生産者が実演販売
 - 「震災から2年、懸命の歩み」映像・パネル展
 - 震災復興支援を呼びかける「復興支援を考える有志生徒の会」生徒制作の展示

出店団体説明

■「いわて三陸 復興食堂」について

盛岡市在住の有志が集まり、震災1か月後の4月11日から約1年にわたり、被災地区のみなさんと一緒に作り上げる復興炊き出しキャラバンプロジェクトを行ってきました。「被災地のみんなに笑顔を！被災地に再会交流の場を！県内外の方々との人と人との交流を！」というコンセプトを掲げ、仲間や家族などの人々が共に楽しく過ごして頂けるような場を提供することで、被災地におけるコミュニケーション作りを目指し活動しています。

○復興食堂実行委員会 HP：www.iwate-fs.net/

■「浜のミサンガ 環(たまき)」について **七三陸に仕事を！プロジェクト**

三陸の浜で、復興活動もままならずその上浜の仕事を元気よく手伝ってきた女性たちの仕事の雇用も少ないのが現状です。一つひとつ手作業で漁網を編んだミサンガをつくり、手仕事を始めました。それが「浜のミサンガ『環』」です。雇用を生みお金を還流させ、浜の皆さんに仕事をしていただくことで被災地に元気を生み出すことで元気をも生むことを目的として活動しています。



○三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会 HP：www.sanriku-shigoto-project.com/

公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボの復興支援活動の実績例 ※一部

2011年7月30日・31日「いわて三陸 復興食堂 in 代官山」開催 ※共同主催

2011年8月6日～11日「いわて三陸 復興食堂 in 京の七夕」開催 ※共同主催

2011年9月10日・11日 当社団が運営しているカルチャー施設・奈良ウェルネス倶楽部が、毎年開催している「第4回奈良ウェルネス倶楽部フェスティバル」の中で、チャリティーバザール・募金呼びかけを実施。集まった支援金を「いわて三陸 復興食堂」へ寄付

2012年3月4日「いわて三陸 復興の絆キャラバン in 奈良」開催 ※活動支援

2013年1月26日 関西大学で行われた「いわて復興フォーラム」にて理事長・川井がパネリストとして参加

以上